

医師が教える「美・健康ナビ」

医師による美と健康に役立つ
アドバイス「美・健康ナビ」を毎月
1回、シリーズで連載しています。

【第1回】 気になる汗と臭い

「多様化する治療

一人で悩まないで」

暑くなり、制汗剤や消臭剤では
取り切れないわきの下の不快な臭
いや衣服の染みに悩んでいません
か。汗腺は2種類あり、運動をし
たときなどに出る汗は、全身のエク
リン腺から放出されます。一方、「わ
きが」のような嫌な臭いのする汗
は、わきの下、陰部付近など特定
部位にあるアポクリン腺からのもの
です。この汗が細菌や脂肪酸、エク
リン腺からの汗と混ざって特有の臭
いを発します。

わきが治療の選択肢は増えてい
ます。保険適応の軟除法は、わき
を切開し、皮膚の内側からアポク
リン腺を取り除きます。効果は高
いとされますが、術後に長い安静が
必要で、感染症や傷痕などの問題
もあります。エクリン腺は皮膚表
面近くにあるため、剪除法は適し
ません。多汗症の場合は、汗腺の
働きを止める注射や、汗の量を抑
制する飲み薬を用います。両方の
汗腺に効果があるとされているの
は、マイクロ（電磁）波を利用して
皮膚表面から汗腺を破壊する方法
で、切開は不要です。悩みや症状
を医師に相談し、最適な治療法を
選択してください。



木下 孝昭^{先生}
医療法人社団 慶徳会
KOSHIOクリニック 院長
医学博士